

四月に新しく津名東小学校としてスタートして半年が過ぎた。新しい校名、校章、校歌にも慣れ、周辺にある看板もすっかり改められた。子ども達は何年も前から津名東小学校にいるかのように、何の違和感もなく見事に溶け込んで生活を送っている。学校は再編で一つになったというものの、地域はこれまで通り生穂・佐野別々の地域のままである。長澤地区も合わせ、連合町内会や公民館、スポーツクラブ21などが独立して運営されており、祭りもそれぞれに行われている。四年生が地域学習で「自分たちのふるさとを学ぼう」という学習に取り組んだ。そのときにふと思ったのが、この子



ふるさと意識の醸成

淡路市人権教育研究協議会
理事（津名東小学校長）

久保 雅一

今回の取組では、佐野小学校や八淨寺の見学、佐野地区運動会、佐野の町を歩くふるさとオリエンテーリングなどを通して、在住の子もほとんど知らなかった佐野のことを学んだ。地域の人から話を聞き、ともにふれ合い、道すがらあいさつを交わしながら路地を歩いた。随所で「久しぶりに子どもの声を聞いた。」と笑顔で出迎えていただいた。このように地域と結びつく経験を積むことで、児童には「ふるさと」、地域には「おらが学校」を感じてもらおうとが自然とできていくだろう。学校は、子どもと地域、地域と地域を結ぶ架け橋でありたい。この子たちが大きくなった時に、「生穂・長澤・佐野全部が自分のふるさと。」と考え、この校区全体を支え、切り拓く人材となってくれることを願う。



『こころの病と向きあう』

向きあう

うつ病や統合失調症など心の病は、誰でもかかる可能性があるある病気です。しかし、こうした病気に対する偏見は、いまだ根強いものがあります。心の病に対する偏見は、患者や家族を社会から阻害し、また、偏見によって適切な治療ができないためにさらに病気が悪化する場合もあります。この作品は、心の病に罹患した人々や、周囲の人々の日常をドキュメントし、心の病に対する偏見について問い直し、心の病と人権について



DVD 字幕版付 25分 2012年度作品
【問い合わせ先】
淡路市市民生活部人権推進課
TEL : 0799-64-2521
FAX : 0799-64-2565

て考えていきます。現在では入院しなくても、薬を正しく服用し、定期的なカウンセリングなどを受けることで社会生活を送っている人も多くなっています。しかし、病状的に退院が可能なのに受け入れる家族がないなどの理由で「社会的入院」と呼ばれる患者が全国に7万人も存在するのです。しかし、アルバイトやパート社員として病気や障がいがある人を積極的に雇用している企業もあります。たとえ病気や障がいがあっても、人は幸せに生きる権利があります。社会を生きる仲間として接していきながら、ひとりひとりが正しい知識を身につけましょう。

●編集後記・お詫び

前号53号(10月号)クイズのヒントが間違っていました。答えは5文字ではなく6文字で、ヒントは表紙にありませんでした。お詫び申し上げます。

「人権を考える集い」で素晴らしいピアノ演奏をしていただいた鈴木凜太郎さんですが、彼の演奏には純粋さと暖かさを感じました。芸術とは技術ではなく心であることを体現してたように思います。(PA)

第53号のクイズの当選者は次の20名です。図書カードをお送ります。(敬称略)
中川菜摘(塩尾) 池田照子(志筑) 小島千明(志筑) 中谷悦子(志筑) 増田照子(志筑) 元岡智恵(志筑) 龍和了(大町上) 山本綾(木曾ト) 内海明子(久留麻) 岡田百々代(久留麻) 大岳育了(浦) 神前信子(岩屋) 土井信秀(岩屋) 前羽小百合(岩屋) 岡本文博(斗ノ内) 岡田広志(育波) 岡田かず子(育波) 繁田喜代子(生田大坪) 地道京子(北山) 菅谷裕美(入野)
※正解は、「マンツーマン」。応募総数は、26通でした。